

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	テクニカル4	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	プレイヤーコース（ギター）		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	内田 充			実務経験の有無・職種	有・プロギタリスト		
学習目的							
この科目を受講する学生は、企画・制作・販売等がボーダレスな今の音楽業界において、ギタリストとしての多角な視点での音楽力を養うことを目的とする。ギタリストとしてのテクニック、知識、スキルの習得を目的とするが、音楽以外の情報もレッスン内で情報提供を行う。ギタリストとしての仕事のみならず、自分の周りの音楽家の仕事についても理解を深める。							
到達目標							
プロギタリストとして必要な専門知識をトータルで学ぶと同時に、あらゆるジャンルの音楽を通して、より実践的な演奏スタイルを構築する。プロギタリストとして演奏力を高めるには、演奏練習だけでは到達できません。演奏に付随する理論、知識、経験など総合的に身につけることにより、自らのプレイが変化していきます。ギターを中心に、周辺の楽器、または、業界の情報にも興味を持つことを目標としている。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、読譜、各スケールに準じたエチュード、コードヴォイシング、イヤートレーニング、リズムトレーニングなどを相対的に学ぶと共に、あらゆるジャンルの楽曲に触れ、その演奏スタイルや表現力を養う。メトロノームやバックিংトラック、予め用意した課題曲やマテリアル等を活用した実技レッスン。なお読譜、リズムトレーニングは随時授業内で行っていく。						
注意点	この授業では、テクニックの向上を図ることだけを目的とせず、ギタリストとして何を求められているのか？を常に模索できるような音楽的視点に基づいた俯瞰力にも注目する。理由のない遅刻・欠席は認めない。また学生間、講師と学生とのコミュニケーション力向上のために、なるべく自己から発言する機会を増やして行く。☒業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	フレーズ研究⑤			ペントニックスケールの応用 その1			
2回	フレーズ研究⑥			ペントニックスケールの応用 その2			
3回	フレーズ研究⑦			ブローケンコードの活用 その1			
4回	フレーズ研究⑧			ブローケンコードの活用 その2			
5回	フレーズ研究⑨			アッパーストラクチャーフレージング その1			
6回	フレーズ研究⑩			アッパーストラクチャーフレージング その2			
7回	フレットボードハーモニー①			表コード、裏コードのアイディア その1			
8回	フレットボードハーモニー②			表コード、裏コードのアイディア その2			
9回	フレットボードハーモニー③			メロディノートを活かしたコードボイスイング その1			
10回	フレットボードハーモニー④			メロディノートを活かしたコードボイスイング その2			
11回	インプロビゼーション①			課題曲①			
12回	インプロビゼーション②			課題曲②			
13回	インプロビゼーション③			課題曲③			
14回	インプロビゼーション④			課題曲④			
15回	まとめ			全体のまとめ			